

第一回 桜町再開発事業における新たな集客施設整備検討委員会 議事概要

【日時】 平成25年8月26日(月) 14:30~15:45

【場所】 熊本市議会 議会棟2階 予算決算委員会室

【出席委員】 全20名のうち16名出席 ※以下、敬称略

(委員長)	熊本大学	理事・副学長	両角光男
	熊本学園大学商学部商学科	教授	宇野史郎
	株式会社アドコム(熊本県広告業協会会員)	常務取締役	後藤亮一
	一般財団法人熊本国際観光コンベンション協会	専務理事	齊藤寛
	在熊マスコミ社長会(熊本放送株式会社 取締役兼総務局長)		杉光定則
	熊本大学工学部建築学科	准教授	田中智之
	熊本県立大学環境共生部居住環境学科	准教授	西英子
	熊本経済同友会	事務局長	藤好清隆
	一般社団法人日本ディスプレイ業団体連合会	副会長	淵田俊郎
	熊本城下のまちづくり協議会 桜町地区会議	会長	吉丸良治
	熊本市議会	市議	藤岡照代
	熊本市議会	市議	津田征士郎
	熊本市議会	市議	下川寛
	熊本市議会	市議	田辺正信
	熊本市議会	市議	江藤正行
	熊本市役所	副市長	牧慎太郎
※欠席委員	熊本市中心商店街等連合協議会	会長	武本純一
	熊本大学	理事・副学長	原田信志
	熊本商工会議所	専務理事	松山正明
	桜町・花畑周辺地区まちづくりマネジメント委員会会長 (熊本市都市政策研究所所長)		蓑茂壽太郎

【議事概要】

第一回 検討委員会

1. 開会

2. 設置要綱、傍聴要綱について：資料 1-1 ・ 資料 1-2

(事務局) 資料説明

3. 委員自己紹介

4. 委員長選出・挨拶

5. 審議スケジュールについて：資料 2

(事務局) 資料説明

(委員長) 本日は、これまでの検討経緯、施設計画にあたっての基本的な考え方の説明を受ける。次回 9 月 2 日に少し図面的な話で意見交換をするということか。3 回目でオープンハウスでの報告とあるが、補足説明をすること。

(事務局) 予定として、大賑わい市が開催される時期に、シンボルプロムナードと一緒に施設概要を示した出店のような形で、市民から意見を頂く。

(委員長) オープンハウスは、大賑わい市に来られた市民の方と事務局とが意見交換するということか、理解してよいか。それを踏まえて 3 回目の委員会となるということか。

(事務局) はい。

6. 審議：資料 3

(事務局) 資料説明

(委員) 「新たな方向性における施設の再検討」での、MICE 施設の方向性は H24 年の 11 月にまとめてあるが、この部分の方向性に関して、この検討委員会の中で、これを軸として考えるのか、この方向性に関しても検討してよいのか確認したい。

(事務局) 桜町再開発の中で進めているが、構想では、3,000 m²のフラットな多目的ホールで進めていた。どうしても 1 階の部分で十分な面積がとれないことがあり、1 階部分にホールとすれば 2,000 m²のホールしか確保できない。その上層階は、若干バスターミナルの上に載せることで、面積が確保できる。上層階に多目的ホール、メインホールを配置することを前提に議論を進めていただきたい。

(委員) 逆転の発想でいうと、桜町再開発準備会社の方針により、バスターミナル

を1階に配置するということだが、これを動かさないのか。理由としては、自身がグランメッセに5年間運営をやっており、その間、展示会、ジャニーズをはじめとした4,000人ほどのコンサートも開催した。展示会では多様な大型トラック、トレーラーで展示物、コンサートでは、音響設備、舞台装置というものが必要。それをどうやって3階に上げるのかという基本的な部分について、自身の経験から非常に難しいのでは。3階まで上げる動線が一切書かれていない。1階のバスターミナルの配置そのものを見直すことが出来ないのか。いわゆる上に上げる、2階、3階に上げることが出来ないのか確認させて頂きたい。

(事務局) 準備会社からバスターミナルを1階に配置するという提案を受けている。それを2階、3階に上げるとなると、どうしてもバスを上げるための動線が長くなり、どうしても確保が出来ない。そういった所からどうしても1階に配置するしかないという回答をもらっている。また、信号、交差点の問題があり、中心部に配置しなくてはならない。そのような諸条件がある中での1階への展示ホールの2,000㎡というものを提案させていただいているところ。

上層階への搬入搬出については、内部で検討している。まずは、地下に11tトラックを5,6台配置し、荷捌き場と大型EVを配置し、3階まで上げる方法が取れないか。それで時間的ロスがどれだけ平場と違ってくるのか、また、コストの問題について検討させて頂きたい。現時点では、バスターミナルを1階に配置すること以外に考えられないと回答を頂いている。

(委員) バスターミナルが1階の配置から変えられないというのは、準備会社の方針ということで変えられないという説明は判った。ただ、展示場を運営する上で、大型展示物や車、いろんな、特に重いものが入ってきたときに、3階まで上げる搬入EVの心配がある。また、コンサートでは、だいたいトラックで20台くらいのコンボイで来る。照明、舞台設備を含めると20数台。グランメッセの場合は、裏に大きく駐車場があり、そこに収容できるため、4,000名くらいのコンサートを2日間で3回開催できた。

それらのトラックで来る機材を上にあげるというコストのロスを、どのように開催する側が吸収できるのかを考えないと、恐らく誘致をするにあたってコストがかかりすぎると判断する立場に立つ。時間がかかる、なおかつ時間のために利用料金がかかるというコストが上がる面が増えるならば、プロモーター側は来るのを嫌がる。

また、経験則でいうと、展示場で行った場合に、大規模集会で女性の集会がよく集まる。3,000人程度ならすぐ満席になる。女性の集会はトイレが

一番問題になる。法律等でいうと、男女比の決められたなかで設置しなくてはならない。グランメッセで大型の集会をするときは、仮設のトイレを立ち上げる。また、火災が発生したときに、どうやって逃がすかという動線の明確化をしないと、3階から上がるエスカレータ、EVしか無いと思うので、いかに3,000人を安全に逃がすかという、人命の問題が出てくる。そういう問題があると、せっかく造っても使われない。

福岡のマリンメッセで確認したが、もともと展示場でスタートしたのだが、黒字を出している理由は、6割がコンサートを開催しているか。大型の展示会や学会等の開催は年間4割程度しかない。福岡でもその程度しかないという事実関係があれば、コンサート開催を見込まないと、運営、収支バランスは取れない。専用の搬入動線を確保するなどしないと、プロモーターは不要と判断され、利用が少なくなる。

(事務局) メインホールの3階部分をコンサートで使う場合に、ご指摘のように、搬入搬出の動線をどうするかを課題の一つとして考えている。市民会館は1591名で、11tトラックが3台、4台止まって機材を降ろし、それから台車に乗せて、裏からステージのほうに運んでいる。本施設では11tトラックが来た際にどうするのか、例えば、トラックのコンテナを載せるようなEVがあるのか、あるいは、大きなEVがいくつあればもっと効率的にできるのか、あるいは一旦降ろして、荷捌き場を広げたほうがよいのかなど、制限がある中で、メインホールの搬入搬出がどうしたら上手くいくか検討している。

また、専門の方の意見を聞きながら、検討を進めているところであり。まとめ次第、ご報告、説明をさせて頂きたい。トレイ、火災の場合の動線等のご指摘のとおり私どもも考えていかななくてはならない。

(委員) 冒頭から「回答いただいております」という話が出ている、基本設計作成のためという前提で、私は話を聞いている。そうすると、回答が出ているというのは、その部分を変えないと聞こえる。

(事務局) 桜町での再開発全体のフレームの中で、全体フレームは確定していない。真ん中の部分にバスターミナルをどうしても配置しなくてはならない。残った部分でMICE施設をどういった配置にするか、1階、2階、3階と確定していきたい。今のところの配置を動かすというのは、今の時点で相当難しいところがあると思うが、桜町の準備会社と協議させて頂きたい。

(委員) ご意見が出ている分を、どう提案を生かしていくかということで、検討しながら、進めていくと理解するが、どうか。

(事務局) 策定委員会の中で、ご意見を頂きながら、MICE施設がより使いやすい施

設になるように、ご意見を頂きながらまとめて行き、桜町準備会社に提案していきたい。

(委員長) 大きなプロジェクトで、様々な主体の需要が一緒になってやっている。そういう意味では、大きな枠組みを全体的なところで決めて、ある程度合意をしながら、少しずつ詰めていく。細かいところから大きなところで矛盾が出てくるため、出来るだけフィードバックしていく。ただ、大きな手戻りをすると、全体への影響が出て、いろんな問題が出る。先ほどの説明としては、大きな枠組みの中で検討した結果が、今こうなっている。その中で施設の設計を進めたいということだと思う。他の委員から具体的な指摘があったが、当然なことが多い。それが、建築的に収められているかは図面が出ていないのでわからない。難しいことをやっているとは思う。ご指摘いただいたことは、図面が出てから慎重に議論を進めていきたい。

(委員) 当初の基本構想から変わっているが、今から論議をしていく基本的なベースになるため、提案が白紙とは言わないが、それに近い状況の中で、どういうものを造っていくかという論議に参加したい。先ほどのように「回答でこうなっています」という、押さえつけるような話では、とてもじゃないが付いていけない。気をつけていただきたい。

(委員) 非常に大事な部分がやりとりであったが、これまでも私は議会の立場で参加しているが、個人的なことと言えば、大規模なコンベンションの誘致に関わってきたので、そういう部分から、やった人の声をどれだけ反映出来るかということが大事だと、アドバイスがずっと議会のほうからあったと思うが、今回、まったく入っていないのではないか。今日の資料は、あくまで提供者側の思い。そうではなく、使う人の理屈が反映されていない。当然、マーケティングが出来て、マーケティングにもとづいて計画が出来ていかないと、うまく運営できていかない。今後の委員会の中で、マーケティングのニーズというものを提供していただけるのか。

(委員) 私は、コンサート、イベントを数多く誘致している。4月31日の朝刊で、九州でコンサート関係のデータが、コンサートプロモーターズから数字として出ているが、コンサートとしては増えている。要は、CD が売れなくなった。ミュージシャンが食い扶持をかせぐためにコンサートを数多くやっている。実際、相対的に増えているが、福岡に一極集中している。それは、器の問題で、ヤフオクドーム、マリンメッセ、国際センター、福岡市民会館、サンパレスいわゆる3万・4万の規模から、1万、2万、2,000・・・。ただし、熊本は減っている。会場が、市民会館が1,800席から、有効座席は1,500席になった。ペイしない。福岡以外の長崎、大分、宮崎、鹿児島、

2,000 クラスが二つある。1,500 と 2,000 とか。県立劇場は 1,800 席のコンサートホールと、1170 の演劇ホールだが、コンサートホールはクラシックしか出来ない。多目的な JPOP はバトンが無いし、反響の部分で、残音の関係で出来ない。必然的に市民会館と 1170 の演劇ホールしかない。政令指定都市で 2,000 キヤパが無いということ自体が、まずソフトが来ない。キョードー西日本という使う側のプロフェッショナル、BEA というイベントターと話したが、人口比率からすると熊本で開催したいのだが、ペイしない。会場も取りにくい。土日は競合して、ペイもしないし会場も取れなければ、長崎に行くか鹿児島、大分、宮崎になる。やりたいけれど、やれない。2,000 キヤパを作るのは絶対。それも使い勝手がよいもの。使われなかったら、文化的事業も出来ないし、365 日のうち学会、イベントでせいぜい 40、50 日。70,80 日いけばいいだろう。6 割以上は、コンサート、演劇。投資して作ったが毎年赤字ということだと非常に誘致しにくい、文化も残っていかない。

(委員長) やはりスタートポイントとして、こういう資料ができていますが、この上で建築計画になると大分動いてくると思う。やり方でずいぶん変わると思う。今頂いていることは大事なことで、是非そういったことに配慮しながら、新しく提示されるプランを良くご検討いただき、それをよく揉んでいただくということをお願いする。

(委員) 各委員がおっしゃったことは非常に大事なことで、基本的なことだと思うので、これからまたご配慮いただければありがたい。事情を知っていただきたいという思いで申し上げておきたいのは、局長と一緒に私も市民会館の運営協議会の委員長をやっておるが、非常に市民会館も努力をされて 9 割くらいに利用度が上がっている。全国トップクラスとのこと。県立劇場も 8 割くらいに上がって、非常に利用度としてはいい。狭いながらも結構外部の人も入っているし県内市内の皆さんが良く利用していただいている。良かった良かったという感じだが、本当を言えばそれもまた問題があるというか、もう目いっぱいということ。私はたまたま文化協会長もやっており、もっと使いたいという市民県民の要望は強いのだが、もう目いっぱいだという。そういう点からすると、もうちょっと空いてくれないかな、もうちょっと余裕があってもraitたい。M I C E ができたときは、そういうことで、大型のコンベンションその他が来ることを是非願っているが、今の市民会館とか県立劇場を狭いと思いながらも使っている皆さんも一部は新しい M I C E をむしろ使ってほしい。そして市民会館あるいは県立劇場も同時に、もうちょっと使いたいという一般市民のためにも余裕を持つ

てもらったほうが本当はいいと言う感じが文化のサイドの皆さんの意見としては結構あるので、そのことも頭に入れながら、是非考えていただければありがたい。

(委員長) いろいろ期待が広がっていると言うことと理解した。

(委員) かなり大きな話になるのですが、10ページに書かれているオンリーワンだとか唯一無二という話があるのですが、ちょっと気になるのが今私は蓑茂委員、吉丸委員のもとで、桜町のシンボルプロムナードの委員もやっているのですが、どこもかしこもおもてなしとか地域性とか言うわけですね。それぞれがオンリーワンの地域性でやっていくと、どこも同じような感じになるし、もう少し全体で、シンボルプロムナードも商業施設もバスターミナルもMICEも含めて全体で役割分担をきちんとして、全体でオンリーワンにならないといけないと思う。そういう意味では話を聞いていると、例えばMICEの唯一無二の部分は地域性とかだけでなく、使い勝手がめっちゃめっちゃいいとか、ものすごくいい箱が熊本にはあるとかでもものすごく個性だと思う。地域性だと固まりだとかはシンボルプロムナードに任せて、うまく連結性を作っていくというような、体系的というんでしょうか考えてそれぞれの一番売りになる部分を作っていないといけないなと思う。10ページに書かれている内容として、使い勝手がいいとかいう機能性の部分がちょっと置かれてしまっている気がするので、そういうことを含めてこの基本計画の策定を考えた方がいいのではないかなと思う。

(委員長) ぜひとも全体を見ている立場であり、今回ここに関わる立場であるため、ぜひともアドバイスを頂きたい。

(その他) 省略

(委員長) 第一回委員会を終了します。